

令和3年度 決算説明資料

令和4年10月6日

教育委員会

目 次

	頁
1 名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の答申に付された留意事項について . . .	1
2 小学校における新たな運動・文化活動に参加した児童等の平均評価点及び主な意見について . . .	2
3 小学校における新たな運動・文化活動の種目等について . . .	3
4 小学校における新たな運動・文化活動の指導者の年齢構成について . . .	4
5 名東図書館の平面図について . . .	5
6 図書館分館の利用実績について . . .	6
7 不登校児童生徒数の推移について . . .	8
8 不登校児童生徒の指導要録上の出席扱いについて . . .	9
9 障害のある幼児児童生徒に対する支援員等の配置について . . .	10
10 母語学習協力員の配置人数について . . .	11
11 I C T支援員について . . .	12
12 1人1台端末について . . .	13
13 スクール・サポート・スタッフの配置状況について . . .	14
14 中学校スクールランチの運営方法に関するアンケート調査結果について . . .	15
15 高等学校の施設状況について . . .	16

1 名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の答申に付された留意事項について

- 教職員、保護者、地域と一体となって子どもたちを見守り、その成長を支えることができるよう、新しい学校づくりのための協議に取り組むこと。
- 施設整備に当たっては、安心・安全かつ統合校が目指す学校ビジョンの実現が図れるような学校施設となるよう取り組むこと。
- 起伏のある地域であることを踏まえた通学の負担面・安全面などを考慮し、統合時に通学距離が非常に長くなる児童については、通学条件などを勘案し、通学区域の柔軟な対応を検討すること。

(注) 令和3年7月16日に開催した名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会における、「高坂小学校としまだ小学校の統合に関する個別プラン(答申)」に付された留意事項について掲げた。

2 小学校における新たな運動・文化活動に参加した児童等の平均評価点及び主な意見について

(1) 満足度アンケートの平均評価点

区 分	児 童	保護者
平均評価点	4. 5	3. 8

(注1) 令和2年度の実施結果を掲げた。

(注2) 児童及び保護者が満足度を5段階評価で回答した点数の平均を掲げた。

(2) 主な意見

区 分	内 容
児 童	・いろいろな種目ができる。 ・一年間、同じ種目をする事ができる。 ・練習内容が楽しい。 ・指導者が優しい。 ・やったことのない種目に参加できる。 ・練習の参加人数が多すぎる。 ・練習内容が難しい。
保護者	・児童本人が活動に楽しんで参加している。 ・複数種目を経験できる。 ・運動・文化活動の機会が維持されて良い。 ・活動に関する連絡があり安心である。 ・回数が少ない。 ・時間が短い。
教 員	・授業準備や教材研究に時間をかけることができる。 ・指導を行っていた時間に打ち合わせや会議が実施できる。 ・指導に入れなくなり寂しさを感じる。
指導者	・複数校を掛け持ちしているが、他の指導者とも関わる事ができ視野が広がる。 ・天候不良などにより当初予定していた会場が使えなくなることがある。

3 小学校における新たな運動・文化活動の種目等について

(単位：校)

区 分		実施校数
運動種目	サッカー	2 6 1
	バスケットボール	2 5 8
	軟式野球	2 4 5
	ソフトボール	1 4 0
	バレーボール	9 8
	総合運動	4 1
	卓球	8
	ハンドボール	4
	小 計	1, 0 5 5
文化種目	器楽	2 1 4
	合唱	1 0 7
	音楽	1 9
	和太鼓	5
	将棋	1
	小 計	3 4 6
計		1, 4 0 1

(注) 令和4年1月末日現在の数値を掲げた。

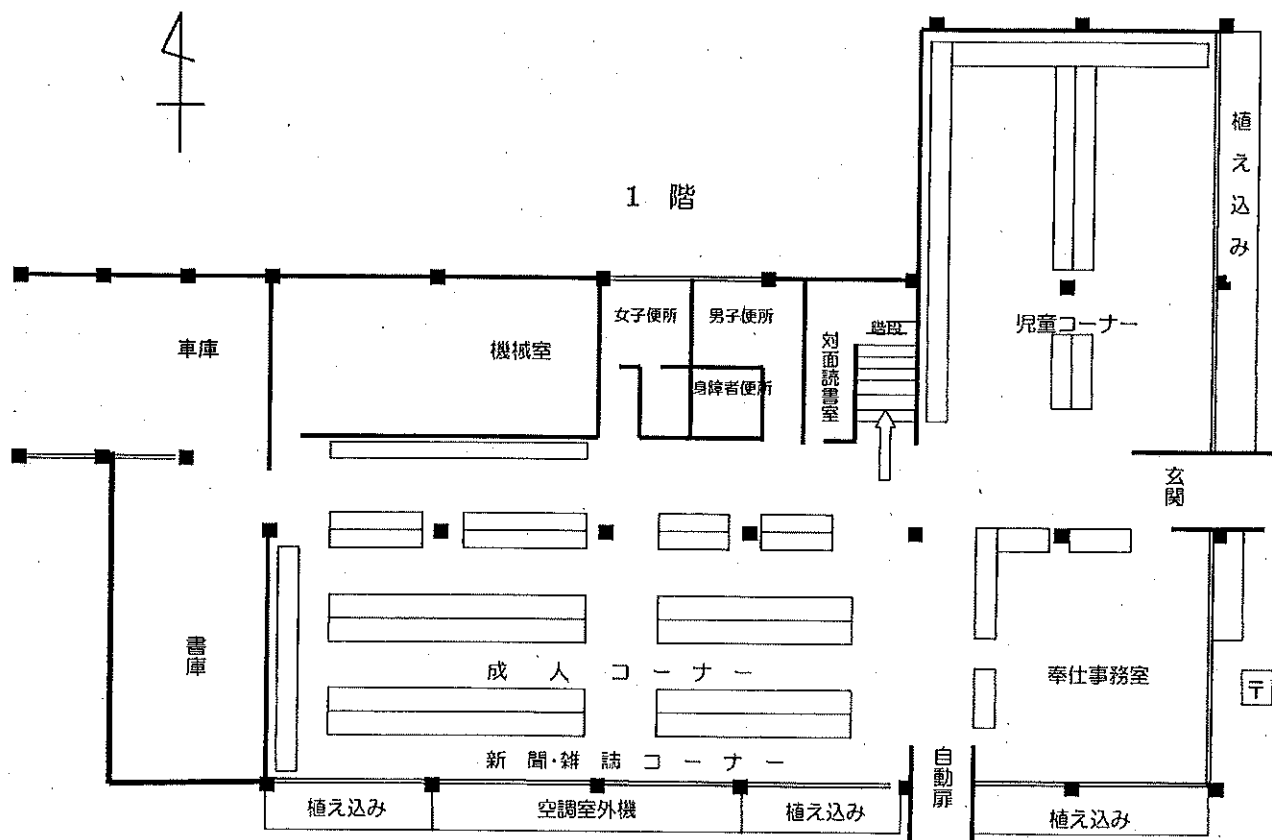
4 小学校における新たな運動・文化活動の指導者の年齢構成について

(単位：％)

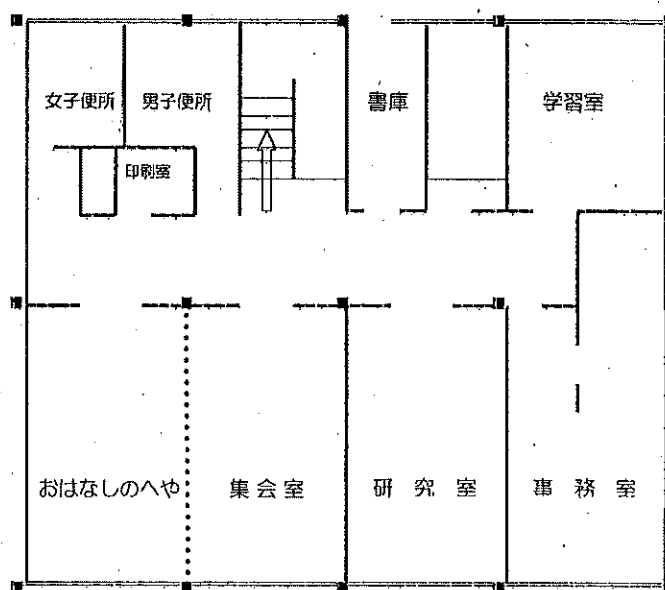
区 分	割 合
20歳未満	8.4
20～29歳	37.4
30～39歳	8.6
40～49歳	13.1
50～59歳	13.1
60～69歳	12.9
70歳以上	6.5
計	100.0

(注) 令和4年1月末日現在の数値を掲げた。

5 名東図書館の平面図について



2 階



6 図書館分館の利用実績について

(1) 児童書の貸出冊数

(単位：冊)

区 分	貸出冊数
瑞 穂	4 0 7, 1 0 4
徳 重	3 5 6, 4 5 3
名 東	2 8 2, 2 3 7
東	2 7 6, 1 5 3
緑	2 4 1, 7 5 7

(注) 令和3年度の貸出冊数が多い上位5館を掲げた。

(2) 紙芝居の貸出組数

(単位：組)

区 分	貸出組数
名 東	1 0, 2 6 6
徳 重	7, 3 7 3
瑞 穂	7, 1 2 3
緑	6, 8 5 0
熱 田	4, 8 4 3

(注) 令和3年度の貸出組数が多い上位5館を掲げた。

(3) 貸出利用者数のうち児童数

(単位：人)

区 分	児童数
瑞 穂	59,114
徳 重	51,001
名 東	46,753
東	43,365
千 種	40,182

(注1) 令和3年度の貸出利用者数のうち児童数が多い上位5館を掲げた。

(注2) 児童とは、中学生以下の利用者のことをいう。

7 不登校児童生徒数の推移について

(単位：人)

区 分		元 年 度	2 年 度	3 年 度
小 学 校	1 年 生	6 7	7 2	8 1
	2 年 生	7 5	1 0 1	1 2 3
	3 年 生	1 0 6	1 4 6	1 7 1
	4 年 生	1 7 3	1 7 5	2 4 7
	5 年 生	2 0 7	2 6 0	2 9 6
	6 年 生	2 6 5	3 4 9	4 0 8
	小 計	8 9 3	1, 1 0 3	1, 3 2 6
中 学 校	1 年 生	5 7 4	5 8 9	7 7 8
	2 年 生	7 0 9	8 2 9	9 6 7
	3 年 生	7 6 1	7 0 9	8 8 5
	小 計	2, 0 4 4	2, 1 2 7	2, 6 3 0
計		2, 9 3 7	3, 2 3 0	3, 9 5 6

8 不登校児童生徒の指導要録上の出席扱いについて

(1) 学校外の機関等での相談・指導等

(単位：人)

区 分		小 学 校	中 学 校
指導要録上の出席扱いとなった人数		1 7 2	4 5 9
	子ども適応相談センター	1 1 8	3 4 4
	教育センター等教育委員会所管の機関（子ども適応相談センターを除く）	2 5	3 4
	民間団体、民間施設	3 0	6 1
	上記以外の機関等	8	4 2

(注) 複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上した。

(2) 自宅における I C T等を活用した学習活動

(単位：人)

区 分		小 学 校	中 学 校
指導要録上の出席扱いとなった人数		1 2	3 1

9 障害のある幼児児童生徒に対する支援員等の配置について

(1) 学校単位で配置した支援員等

(単位：人)

区 分	2年度	3年度
発達障害対応支援講師	65	65
発達障害対応支援員	395	396
通級指導定着支援員	1	1

(2) 支援を必要とした幼児児童生徒数

(単位：人)

区 分	2年度	3年度
学校生活介助アシスタント	168	178
宿泊行事への介護ヘルパー	16	9
看 護 介 助 員	26	25
学 校 給 食 栄 養 士	14	16

(注) 支援を必要とした全ての幼児児童生徒に対して配置した。

10 母語学習協力員の配置人数について

(単位：人)

区 分	2年度	3年度
中 国 語	23	22
ポルトガル語	10	10
フィリピン語	9	9
ネパール語	—	2
ベトナム語	—	1
計	42	44

1.1 ICT支援員について

(1) 教育委員会が定める要件

- 各校種における教育活動とICT利活用について理解した人材であること。
- ICT環境、ICT機器の設定内容を踏まえ、教員及び児童生徒のICTスキルの向上を図る支援が行えること。
- 日本語で教職員及び児童生徒とコミュニケーションがとれること。また、教職員及び児童生徒と関わるために適切なコミュニケーション能力を有すること。
- 特定非営利活動法人 情報ネットワーク教育活用研究協議会が開設する「ICT支援員養成講座」を修了すること。
- ICT支援員配置業務の受託事業者が実施する、以下の内容を含む研修を修了すること。
 - ・学校や教職員の全般的状況、学習指導要領等の教育的知識に関する研修
 - ・授業支援の研修
 - ・技術研修（ネットワーク知識等を含む。）
 - ・個人情報・著作権に関する研修
 - ・情報モラル・情報セキュリティ・児童生徒の人権教育に関する研修
 - ・ビジネスマナーに関する研修
 - ・本市が導入しているソフトウェアの各メーカーの研修

(2) 1日の業務の例

区 分	内 容
授 業 前	○教員と授業で使用する機器等について打合せ ○周辺機器の接続確認
授 業 中	○機器等の操作支援 ○ネットワーク接続トラブルへの対応
授 業 後	○周辺機器の片付け ○授業において児童生徒が作成したデータの整理
児童生徒 の下校後	○授業で使用する教材の作成・提案 ○校内研修の実施・支援

1 2 1 人 1 台端末について

(1) 導入台数及び修理台数

(単位：台)

区 分	台 数
導 入	1 3 4, 1 8 7
修 理	8, 8 1 8

(注 1) 台数は、初期不良による不具合が多発した特定の機種を除いた数値を掲げた。

(注 2) 修理は、導入後から令和 4 年 3 月末までに学校から修理依頼があった延べ台数を掲げた。

(2) 修理の主な理由

- 画面の破損
- USB 差込口の破損
- キーボードの破損
- カメラの不具合

13 スクール・サポート・スタッフの配置状況について

(単位：校、園)

区 分	配 置 校
通 年 配 置	280
11カ月配置	70
10カ月配置	29
9カ月配置	10
8カ月以下の配置	24
未 配 置	2
計	415

1 4 中学校スクールランチの運営方法に関する アンケート調査結果について

(1) 生徒

(単位：％)

区 分	2 年 度	3 年 度
現状の方法でよい	78.7	88.8
他の方法がよい	19.9	10.7
小学校のような給食	12.7	7.6
全員スクールランチ	1.7	0.8
その他	5.5	2.3
無回答	1.3	0.5

(注1) 8校各4学級を対象にしたアンケートのうち、運営方法に関する設問項目の結果を掲げた。

(注2) 小数第1位未満を四捨五入しているため、合計は100％にならない。

(2) 保護者

(単位：％)

区 分	2 年 度	3 年 度
現状の方法でよい	56.5	55.0
他の方法がよい	43.2	44.2
小学校のような給食	35.8	36.3
全員スクールランチ	5.2	5.4
その他	2.2	2.5
無回答	0.4	0.7

(注1) 小学校6年生又は在校生の保護者向け試食会の参加者を対象にしたアンケートのうち、運営方法に関する設問項目の結果を掲げた。

(注2) 小数第1位未満を四捨五入しているため、合計は100％にならない。

1 5 高等学校の施設状況について

(1) 学校別築年数及びトイレ洋式化率

(単位：年、％)

区 分	築年数	トイレ洋式化率
菊 里	5 9	2 9 . 5
向 陽	4 1	7 7 . 4
桜 台	6 3	5 9 . 8
北	5 9	3 5 . 3
緑	5 9	7 2 . 3
富 田	4 7	3 1 . 1
山 田	4 3	4 9 . 5
名 東	3 8	1 0 0 . 0
西 陵	6 5	4 4 . 7
名古屋商業	2 6	7 7 . 2
若 宮 商 業	5 8	2 6 . 8
工 業	5 8	7 3 . 7
工 芸	5 9	5 3 . 2
中 央	3 3	8 6 . 7

(注1) 令和4年3月末日現在の数値を掲げた。

(注2) 築年数は、最も古い棟の年数を掲げた。

(注3) トイレ洋式化率は、学校全体の数値を掲げた。

(2) 築年数別延べ床面積

(単位：㎡、%)

区 分	延 べ 床 面 積	割 合
60年以上	14,949	8.2
50年以上	88,458	48.4
40年以上	122,560	67.0
30年以上	165,049	90.3
20年以上	181,936	99.5
10年以上	182,825	100.0

(注1) 延べ床面積は、200㎡以上の棟について令和4年3月末日現在の数値を掲げた。

(注2) 割合は、総延べ床面積182,825㎡を母数として算出した数値を掲げた。

